

【低圧インバータ】

**汎用インバータ用パソコンローダ FRENIC-Loader 4 の FRENIC-MEGA(G2)対応のお知らせ**

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今般、汎用インバータ用パソコンローダ FRENIC-Loader4(FRENIC-MEGA(G2)対応版)をリリースいたしましたので、ご案内申し上げます。本ソフトウェアより新たに FRENIC-MEGA(G2)に対応いたしました。

■ローダ本体ソフト

FRENIC-Loader4\_Loader 4 Ver1.1.0.32

■対応機種

**FRENIC-MEGA(G2)**、FRENIC-MEGA(G1)/(GX1S)、FRENIC-Ace(E2)、FRENIC-Multi(E1)、FRENIC-Mini(G2)/(C1)  
FRENIC-Eco(F1)、FRENIC-HVAC(AR1)

■公開時期

FE Library にアップ済み

■注意事項

FRENIC-MEGA(G1)パラメータを新型 FRENIC-MEGA(G2)に書き込む場合は、所定の手順を踏む必要があります。  
詳細は「FRENIC-MEGA(G1\_G2)機能コード置き換え手順書(FRENIC-Loader4)」をご参照ください

添付資料;

・FRENIC-MEGA(G1\_G2)機能コード置き換え手順書(FRENIC-Loader4) …… 各一部

—以 上—

**パソコンローダによる FRENIC-MEGA(G1)から  
FRENIC-MEGA(G2)へのパラメータ変換の手順について**

DRIVE2021A-124  
富士電機  
パワーエレクトロニクス インダストリー事業本部  
ファクトリーオートメーション事業部  
機種業務部

本書では FRENIC-Loader4 を使用した FRENIC-MEGA(G1)→MEGA(G2) 機能コード変換手順について説明します。  
FRENIC-Loader4 は機能コード設定を CSV 形式でエクスポート/インポートする機能を有しています。  
この機能を使用することで、G1 でエクスポートした機能コードの設定値を G2 機能コード編集へインポートする時に置き換えを行うことができます。

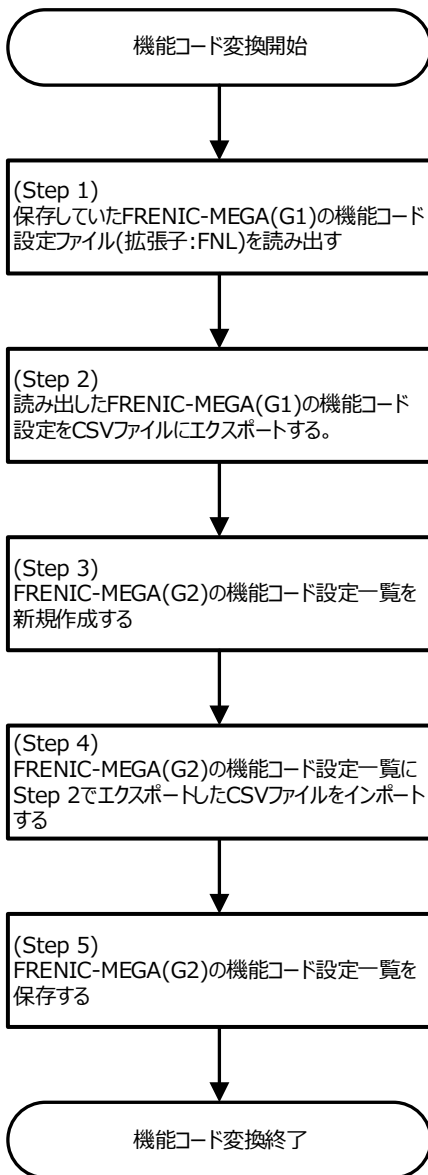


図 1.機能コード変換手順

① 最初に FRENIC-MEGA(G1)の機能コードを FRENIC-Loader4 に読み出します。

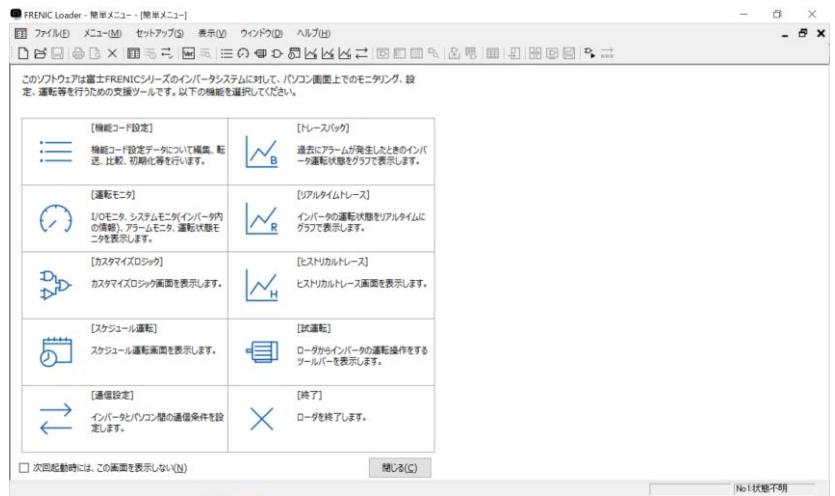


図 2 簡単メニュー

パソコンからのファイル読み出し(F)を選択し、保存しておいた MEGA(G1)のローダファイル(拡張子が FNL のファイル)を読み出します。

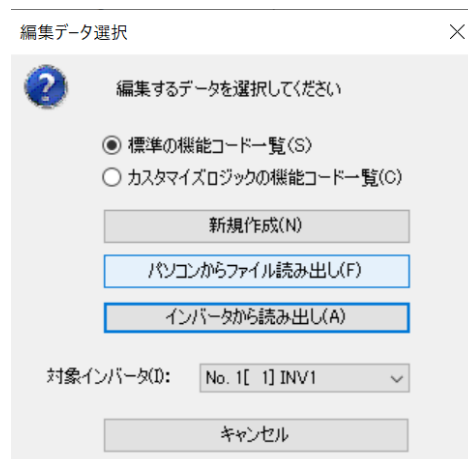


図 3 編集データ選択

- ② 次に MEGA(G2)用のファイルを準備します。  
[簡単メニュー]-[機能コード設定]を選択します。

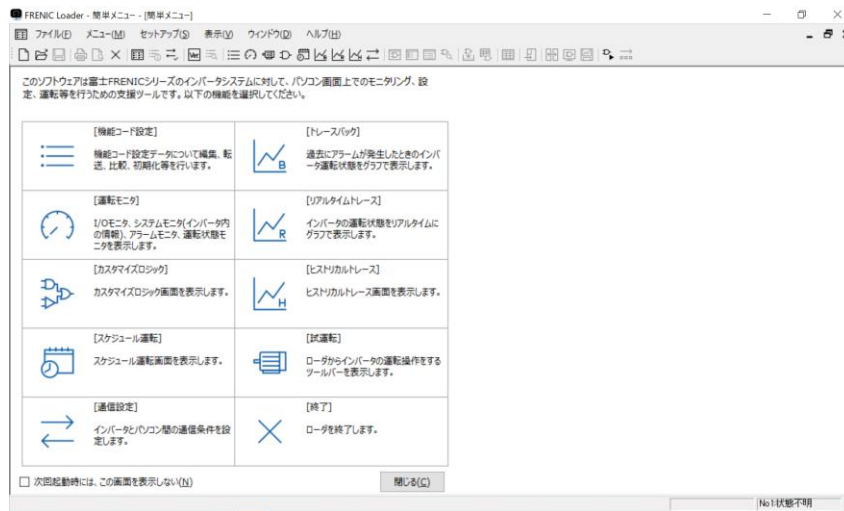


図 4 簡単メニュー

- ③ 新規作成(N)を選択し、MEGA(G2)を選択して「新規作成」を行います。

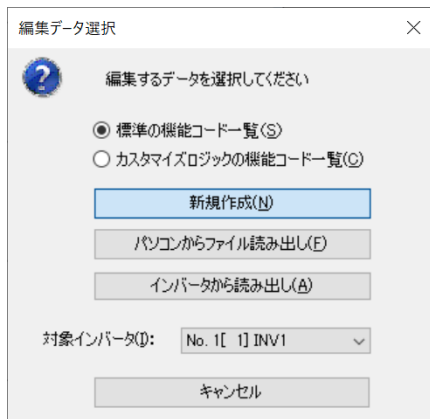


図 5 編集データ選択



図 6 初期設定

- ④ MEGA(G2)を選択して「新規作成」を行います。  
しばらく待つと MEGA(G2)用の機能コードファイルが開きます。



図 7 一覧編集(FRENIC-MEGA(G1))

⑤ インポート(I)を選択し、③で保存した MEGA(G1)の CSV ファイルを指定し、インポートします。

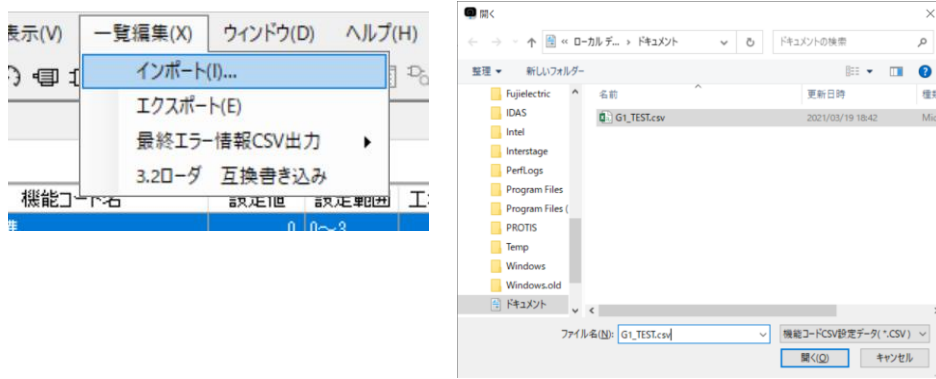


図 8 インポート

⑥ インポート設定画面がポップアップします。

「電圧、容量依存のデータをインポートする」にチェックを入れて「継続」ボタンを押下します。

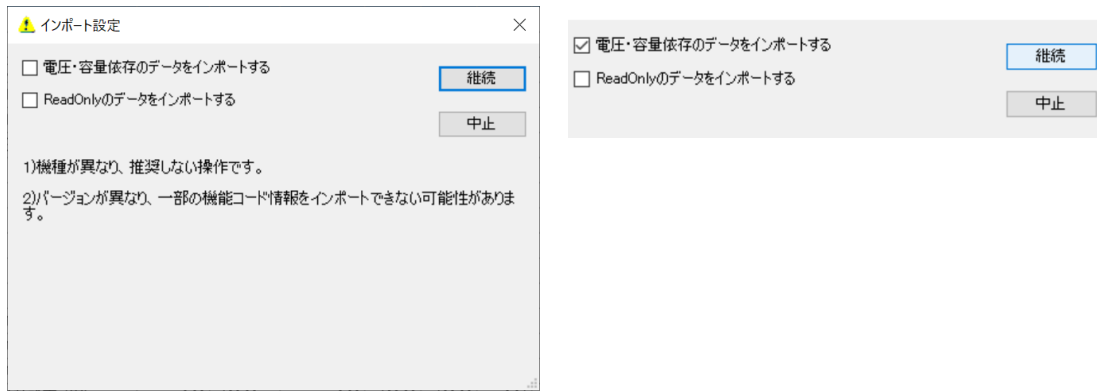


図 9 インポート設定

⑦ 相違する機能コード一覧が表示されます。そのまま「OK」ボタンを押下します。

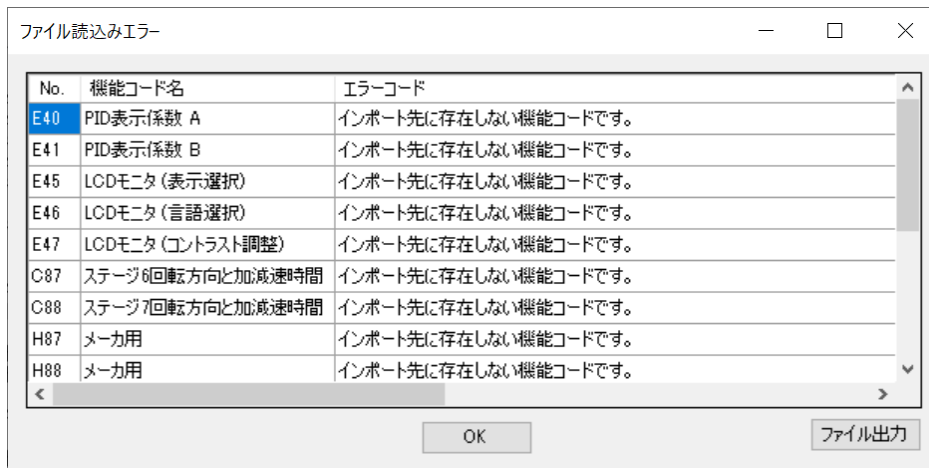


図 10 ファイル読み込みエラー

下記が G1 と G2 で異なります。

E40	PID 表示係数 A	インポート先に存在しない機能コードです。
E41	PID 表示係数 B	インポート先に存在しない機能コードです。
E45	LCD モニタ (表示選択)	インポート先に存在しない機能コードです。
E46	LCD モニタ (言語選択)	インポート先に存在しない機能コードです。
E47	LCD モニタ (コントラスト調整)	インポート先に存在しない機能コードです。
C87	ステージ 6 回転方向と加減速時間	インポート先に存在しない機能コードです。
C88	ステージ 7 回転方向と加減速時間	インポート先に存在しない機能コードです。
H87	メーカ用	インポート先に存在しない機能コードです。
H88	メーカ用	インポート先に存在しない機能コードです。
J56	PID 制御 (PID 用速度指令フィルタ)	インポート先に存在しない機能コードです。
o68	端子 C2 (ゲイン調整)	インポート先に存在しない機能コードです。
o72	端子 Ao (出力ゲイン)	インポート先に存在しない機能コードです。
o73	端子 Ao (極性選択)	インポート先に存在しない機能コードです。
o74	端子 CS (機能選択)	インポート先に存在しない機能コードです。

⑧ ファイル読み込みエラーがポップアップします。そのまま「OK」ボタンを押下します。

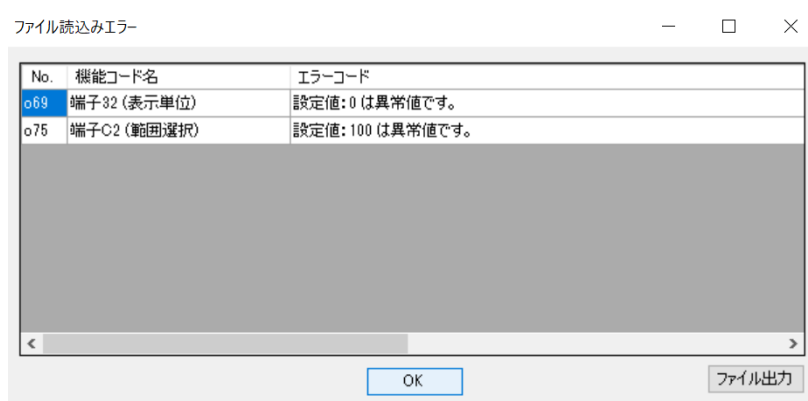


図 11 ファイル読み込みエラー

⑨ しばらく待つとインポートが完了し、MEGA(G2)の機能コード一覧に G1 の設定が取り込まれます。

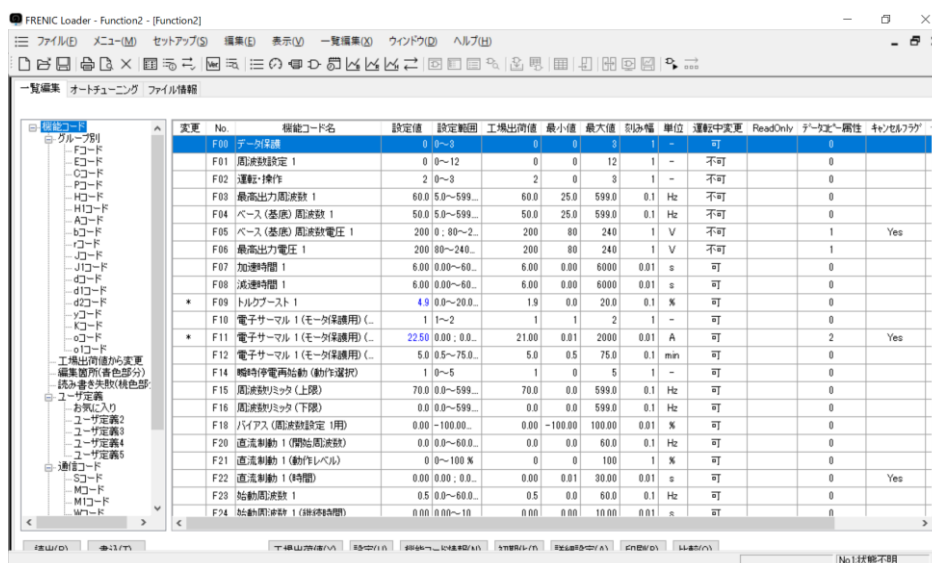


図 12 一覧編集(FRENIC-MEGA(G2))

⑩ 以上で、MEGA(G1)から MEGA(G2)への機能コード置き換えが完了しました。

設定を保存してください。

※下記機能コードは自動的に置き換えされません。お手数ですが、手動での設定をお願いします。

MEGA(G1)機能コード	機能コード名称	MEGA(G2)機能コード
E40	PID 表示係数 A	J106
E41	PID 表示係数 B	J107
E45,E46,E47	LCD モニタ	K01,K15,K20~K22
C22~C28,C82~C88	パターン運転	C22~C28 設定方法を変更しています。
U00~U50,U71~U75, U81~U85,U91	カスタマイズロジック	置き換えルールは次ページ参照
H87,	メーカー用(未使用)	削除
H88,	メーカー用(未使用)	削除
J56	PID 制御(PID 用速度指令フィルタ) (無効)	削除
o66	端子 C2 (機能選択)	o76
o67	端子 C2 (オフセット調整)	o77
o68	端子 C2 (ゲイン調整)	o78
o69	端子 C2 (フィルタ設定)	o79
o70	端子 C2 (ゲイン基準点)	o81
o71	端子 Ao (機能選択)	o90
o72	端子 Ao (出力ゲイン)	o91
o73	端子 Ao (極性選択)	o93
o74	端子 CS (機能選択)	o96
o75	端子 CS (出力ゲイン)	o97

カスタマイズロジック置き換え

G1	置き換えルール	G2
U01, U02	(G1 機能コードの設定値) ↓ (G2 機能コード+1)	U02, U03
U06, U07		U07, U08
U11, U12		U12, U13
U16, U17		U17, U18
U21, U22		U22, U23
U26, U27		U27, U28
U31, U32		U32, U33
U36, U37		U37, U38
U41, U42		U42, U43
U46, U47		U47, U48
U03   U04	(G1 機能コード:U03 等×10+U04 等)>110 の場合 (G1 機能コード:U03 等の設定値×10) ↓ (G2 機能コード:U01 等)  (G1 機能コード:U03 等×10+U04 等)≤110 の場合 (G1 機能コード:U03 等の設定値×10 +U04 等の設定値) ↓ (G2 機能コード:U01 等)	U01
U08   U09		U06
U13   U14		U11
U18   U14		U16
U23   U24		U21
U28   U29		U26
U33   U34		U31
U38   U39		U36
U43   U44		U41
U48   U49		U46
U05	(G1 機能コードの設定値) ↓ G2 機能コード(=G1 機能コード-1)	U04
U10		U09
U15		U14
U20		U19
U25		U24
U30		U29
U35		U34
U40		U39
U45		U44
U50		U49
0	0 ↓ G2 機能コード(=G1 機能コード)	U05
		U10
		U15
		U20
		U25
		U30
		U35
		U40
		U45
		U50